

サタデープログラムニュース^{30th}

講座番号:1番(第一部 9:30~11:00)

人工知能時代に学ぶべきこと

～人間にしかできない価値を出すために～



講師:藤野貴教氏

(株式会社働きごこち研究所 ワークスタイルクリエイター)

〈講師プロフィール〉

外資系コンサルティング企業アクセンチュアを経て IT 企業の人事採用・営業マネージャーとなる。2007年に「働きごこち研究所」を設立し、働きごこち心地のよい組織づくりの支援を行っている。また採用コンサルタントとしても活躍。2015年より「人工知能時代の働き方」をテーマに研究を進め、多くの講演会・ワークショップを開催。また、2006年に東京から愛知県西尾市幡豆町(ハズフォルニア)に移住した経験を基に、田舎暮らしの面白さも伝えている。

人工知能が急速に進化している！

配られたプリントを仕分ける作業をする時、作業中何を思うでしょうか。つまらない、疲れる、やりたくない…、そんなところじゃないかと思います。たいていの人は単純作業が好きではないと思います。

しかし、単純作業はどんな活動であれ必ず発生します。この結果として、アルバイトやパート、平社員の方々が“人間らしくなく”働かされているのです。そんな事態を解消するのがAI、人工知能なのです。インターネットやスマートフォンが私たちの生活に当たり前になったように、2020年頃には、AIは私たちの仕事・生活・学習になくてはならないものに、進化していくことでしょう。

人間と AI が協働する未来

そもそも AI は疲れませんし、飽きません。機械なので当たり前ですね。また、忘れることもないので単純作業や大量の情報から論理的思考を組み立てるのは遥かに AI の方が優れています。しかし、奇抜なアイデアを考えたり、まだ誰もしたことがないことをしたりするのは人間にしかできません。

そんな AI と人間が分業すればお互いの強みを生かした社会、私たち目線で見れば“人間らしい”社会になるのではないのでしょうか。“人間らしい”というのは今の人がロボットのように働かされる社会ではなく、私たち人間の強みである発想力・創意工夫を生かした社会のことです。具体的には問題に対して人間が案を出し、それを AI が複雑な人間の心理を考え成功するか計算し、それをまた人間が練り直す…という具合です。そうすると AI が私たちの仕事を奪うという話は真実になります。単純作業、情報処理の仕事は AI にとってかわられるでしょう。ならば、私たちはどういうことを学ばなければいけないのでしょうか。これらの問いについて藤野氏は研究しています。

～講師よりメッセージ～

人間にも AI にも、お互いに得意なこと・苦手なことがあります。この講演では、AI の最前線を、動画などでわかりやすくお伝えします。そして、私たち人間がどんな価値を生み出していけばいいのか、人間らしい仕事とは何だろうか、今中高生が学ぶこととは何でしょうか？ これらの問いに皆さんと共に考えていきます。

2016 年 10 月に、IT の先端地シリコンバレーで、現地の高校生・大学生向けに本講演と同じテーマを英語で開催してきました。彼らがどんなことを考えていたか、についても当日お伝えしたいと思います。

これから AI を本格的に使う時代がやっていきます。AI をはじめとするテクノロジーの発達は私たちに人間らしい生活を取り戻させてくれるツールに他ならないのです。AI をどうすれば私たちの人間らしい生活を作り上げられるのか、そのために今何をすべきか、これらをこの講座を通して考えてみませんか？考えることに専門知識なんて何もありません！

中高生・大人問わず皆様のご参加お待ちしております！！